

# 令和2年三重県議会定例会

## 総務地域連携常任委員会説明資料

### 目次

#### ◎所管事項

- 1 みえモデルの取組方向について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 「令和2年版成果レポート（案）」について・・・・・・・・・・・・・・（別冊1・別冊2）
- 3 次世代モビリティ等の導入支援について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の取組について・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 5 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備状況について・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 6 南部地域活性化に向けた取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 7 審議会等の審議状況について（報告）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

#### ○別冊資料

- （別冊1） 令和2年版成果レポート（案）第1編【地域連携部抜粋版】
- （別冊2） 令和2年版成果レポート（案）第2編【地域連携部抜粋版】

令和2年6月19日

地域連携部

# 1 みえモデルの取組方向について

地域連携部では、“命”と“経済”の両立をめざす「みえモデル」について、下表の取組を進めていきます。

取組内容	担当課	予算 計上	本冊 頁
<b>I 県民の命を守り抜く感染拡大の防止</b>			
《第2ステージ》			
(4) 事業者における感染症拡大の防止策への支援  【交通事業者に対する感染拡大防止対策補助金】 ○ 新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、マスクや消毒液などの購入等に要する費用を支援するとともに、公共交通をより安心して利用いただけるよう、車両内の抗菌対策などに対し、国とともに支援する。	交通政策課	6月 補正 その2	15
<b>II 雇用の維持と新しい働き方</b>			
《第2ステージ》			
(2) テレワーク、ワーケーションの導入促進  【ワーケーションの推進】（雇用経済部、農林水産部、地域連携部）【DX】（※） ○ 感染拡大により急速に普及しはじめたテレワークをさらに進化させ、県内の自然豊かな環境で安全に仕事ができるワーケーションや交通至便地でのリモートワークを推進するため、県内施設における受入体制の構築に向けた通信環境や交通アクセスの整備等のモデル的な取組を支援するとともに、首都圏等の企業や勤務者、移住希望者等の誘致に向けたPR活動や県内受入施設とのマッチング等を行う。	地域支援課  南部地域活性化推進課	6月 補正 その2  既決 予算	24
《第3ステージ》			
(2) テレワーク、ワーケーションの導入促進  【ワーケーションの推進】（雇用経済部、農林水産部、地域連携部）【DX】 ○ 首都圏等の企業や個人が県内でワーケーションやリモートワークを実施するよう、県内受入施設の拡充を図り、首都圏等からの誘致に向けたPR活動や県内受入施設とのマッチング等を行うことにより、受入体制を構築したモデル的な取組を水平展開する。	地域支援課  南部地域活性化推進課	—	26

※【DX】：デジタル・トランスフォーメーション

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

従来の情報化／ICT利活用では、既に確立された産業を前提にその産業の効率化や価値の向上を実現するものであったのに対し、デジタル・トランスフォーメーションにおいては、その産業のビジネスモデル自体を変革していく。

取組内容	担当課	予算 計上	本冊 頁
<b>Ⅲ 地域経済の再生と進化</b>			
《第2ステージ》			
<p>(6) 移住の促進、観光振興等</p> <p>【SNSによる三重の魅力発信リレーとハイブリッド移住相談】【DX】</p> <p>○ 今後、都市部での移住需要の高まりが想定される一方、国内移動を控えたり、セミナー等のイベントが自粛となる中で、移住を検討している人に三重を知ってもらい、移住先の候補としてもらうための情報提供の手段として、三重県への移住者や県内で活躍する人などにSNSで三重の暮らしのいいところをリレー形式で発信していただく。また、「ええとこやんか 三重移住相談センター」等での直接相談に加えて、Webを通じて市町職員や地域の方など三重の人とつながることができる場の提供を行う。</p>	地域支援課	既決 予算  6月 補正 その2	37
<p>【度会県オンラインサロン】【DX】</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人とのつながりの場が減り、「精神的な豊かさ」を感じる機会が減少していることから、「度会県」の仕組みを活用し、南部地域出身者や南部地域のファンがオンラインで交流できる場を創出することで、「精神的な豊かさ」を提供する。</p>	南部地域活性化推進課	既決 予算	37
<p>【自然体験等の推進】</p> <p>○ 「新しい生活様式」において、「遊びにいくなら屋外を選ぶ」とされているところ、南部地域では豊かな自然を活かしたアウトドアスポーツ等の促進や魅力発信に広域で取り組んできたことから、その強みを活かし、豊かな自然の中で健康的に安心して楽しめる南部地域をPRするため、「三つの密」を避けて行う、自然体験や感染症に負けない体力増強、健康増進につながるコンテンツの利用促進キャンペーンを実施する。</p>	南部地域活性化推進課	6月 補正 その2	38
<p>【体験型教育旅行への支援】</p> <p>○ 県外に出向く教育旅行の実施が難しい状況の中、多様で豊かな自然や歴史風土を有する南部地域において、感染症対策に留意しつつ、体験を取り入れた県内学校の教育旅行の実施を支援する。</p>	南部地域活性化推進課	6月 補正 その2	38

取組内容	担当課	予算 計上	本冊 頁
<b>《第3ステージ》</b>			
<p>(6) 移住の促進、観光振興等</p> <p><b>【コロナ後の三重で始めるニューライフ】【DX】</b></p> <p>○ コロナ収束後は、「密」を避け、「場所」を選ばない働き方が進むことにより、大都市部から地方への移住需要が高まることが想定されることから、首都圏の移住希望者と地域の人とが交流する仕組みである「三重暮らし魅力発信サポーターズスクエア」の取組をより一層推進するとともに、ワーケーションという新たな働き方に関心がある人を呼び込み、県内市町や三重暮らし応援コンシェルジュと連携し、三重の多様な暮らしを体験してもらい、SNS等により発信していただく。</p> <p>また、その体験をバーチャル化しPRすることで、さらなる移住希望者の掘り起こしにつなげる好循環をつくり、コロナ後のニューライフの場所として三重を選んでもらえるよう取り組んでいく。</p>	地域支援課	—	42
<p><b>【移住支援金の要件緩和】</b></p> <p>○ 地方への移住を後押しするため、現行の移住支援事業のさらなる要件緩和及び首都圏におけるPRを国へ要望する。</p>	地域支援課	—	42
<b>Ⅳ 安全・安心な暮らしの再構築</b>			
<b>《第2ステージ》</b>			
<p>(2) 地域交通の維持・確保</p> <p><b>【地域公共交通の維持・確保に向けた支援】</b></p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用者が大きく減少していることから、地域鉄道やバスの維持・確保に向け、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減収分に対する必要な財政支援を国に要望する。</p>	交通政策課	—	47
<p><b>【交通事業者に対する事業継続への支援】</b></p> <p>○ 利用者の大幅な減少により、厳しい経営に直面している交通事業者を支援するため、安全運行に不可欠な設備整備などに取り組めるよう各種補助制度の基準緩和および拡充を国に要望する。</p>	交通政策課	—	47
<p><b>【公共交通機関の利用回帰に向けた支援】</b></p> <p>○ 新型コロナウイルス感染症の収束後、公共交通機関の利用回帰を図るため、駅、待合所等での利用回帰を促すポスターの掲出などを行うとともに、<u>通勤・通学等の利用回帰に向け、交通事業者が様々な工夫を凝らして実施する取組に対する支援などを強力に進める。</u></p>	交通政策課	6月 補正 その2  下線部は 今後実施 に向け検討	47

取組内容	担当課	予算 計上	本冊 頁
<p><b>【移動手段の確保に向けた取組】</b></p> <p>○ 車を持たない高齢者などの円滑な移動を支援するため、地域の実情に応じた、福祉分野等と連携した取組や次世代モビリティ等を活用した取組などのモデル事業について、感染症の状況を確認しながら、市町、事業者等と進める。また、MaaS等の新技術を活用した新たな移動手段の導入に向け、市町等とともに取り組む。</p>	交通政策課	既決 予算	48
<p>《第3ステージ》</p>			
<p>(2) 地域交通の維持等</p> <p><b>【MaaSを見据えたオープンデータ化の促進等】</b>（地域連携部、県土整備部）【DX】</p> <p>○ 地域経済の回復後の円滑な移動を実現するため、MaaSを見据えた公共交通データのオープン化を進める。 また、福祉等と連携した取組や、自動運転をはじめとする次世代モビリティ等を活用した取組などのモデル事業のマニュアルを活用するなどにより、円滑な移動手段の確保に取り組む地域の拡大を図る。 加えて、道路インフラ側から自動運転を支援する手法等について、県管理道路への導入を検討する。</p>	交通政策課	—	51

### 3 次世代モビリティ等の導入支援について

#### 1 現状と課題

公共交通の維持・活性化を図るため、県では、広域自治体の役割として、複数市町をまたぐ地域間幹線バス（47系統）の維持等について、交通事業者に対し支援を行うとともに、市町等と連携して利用促進に取り組んでいます。

また、市町では、地域の実情に応じ、コミュニティバスやデマンドタクシーなどを運行することにより、地域住民に身近な公共交通の確保に取り組んでいます。

しかしながら、人口減少などにより、公共交通の利用者が減少傾向にある中、今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、さらに利用者の減少が進んでいます。

バスについては、運転士不足が深刻化し、路線の減便、縮小が進んでいることから、交通不便地域など、移動手段の確保が困難な地域が増えてきています。

こうした中、高齢者の交通事故が社会問題化し、運転免許証の返納件数が、平成27年の2,199件から令和元年は8,419件と大幅に増加しており、返納後の移動手段の確保を含め、地域における公共交通の維持・活性化に向けた対策は急務となっています。

#### 2 目的

県では、福祉分野等と連携した取組や、自動運転技術、AI等を活用したデマンドタクシーなど次世代モビリティ等を活用した新たな取組を進めることにより、高齢者をはじめとする県民の皆さんが円滑に移動できる環境づくりをめざしています。

#### 3 令和元年度取組

令和元年度は、県と市町等がともにセミナーなどを通じ、交通や福祉の各種制度などについて理解を深めるとともに、先進事例の共有などを通じ移動手段の確保に向けた課題整理や具体的な取組に向けた検討を進めました。また、国の事業を活用しながらMaas<sup>注)1</sup>など新たな移動手段の導入に向けた実証事業に市町等とともに取り組みました。

注) 1 Maas：出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス。

#### 4 令和2年度取組方針

令和2年度は、これまで進めてきた市町等との検討内容をふまえ、高齢化が進む郊外型団地などの都市部や、交通不便地域における移動手段の確保をめざし、福祉分野等との連携や、次世代モビリティ等を活用した取組を新たに市町や交通事業者等と実施します。

あわせて、これらの取組の成果をマニュアルとして取りまとめ、市町にその活用を働きかけることにより、円滑な移動手段の確保に取り組む地域の拡大を図ります。

また、Maasについても、公共交通データのオープン化によるMaas推進のための環境整備や、これまで市町が先行実施した取組等について他地域へ情報共有を行うなど、取組の拡大に向けた支援を行っていきます。

## 5 モデル事業の選定について

「郊外型団地等都市部」「交通不便地域」において、県内他市町の牽引役となる先駆的な取組をモデル事業として選定しました。

モデル事業の実施にあたっては、通院や買い物など日常生活を支える移動手段の確保、利便性の向上は、高齢者等にとって喫緊の課題であることから、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言や感染状況を確認しつつ、取組を進めています。

〈選定事業：4事業〉

取組内容 地域	次世代モビリティ等を活用	福祉分野等との連携
郊外型団地 等都市部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●桑名市次世代モビリティ推進事業 (実施主体：桑名市)</li> <li>・持続可能な公共交通ネットワークの維持のため、自動運転バスを既存バス路線の一部で実証運行し、本格導入の可能性や課題について検証。</li> </ul>	
交通不便 地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A I配車システムを活用した「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」実証運行事業（実施主体：亀山市）</li> <li>・市内全域を運行しているデマンド乗合タクシーにA I配車システムを導入し、配車効率、当日予約の対応化など利用者の利便性を向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寝屋子の島 答志島高齢者等移動手段確保事業 (実施主体：鳥羽市)</li> <li>・市の健康福祉分野が地元町内会と連携し、公用車による移送を行い、島内の移動手段を持たない高齢者等の島内唯一の桃取診療所への通院を中心とした移動需要に対応。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紀北町新交通システム実証事業 (実施主体：紀北町)</li> <li>・町内全域を運行している、町の公用車によるデマンドタクシーにA I配車システムを導入し、配車効率を向上。将来的にM a a Sの導入につなげることを視野に入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転業務の一部を町内介護タクシー事業者に委託し、高齢者の乗車時のニーズに的確に対応。</li> </ul>

(参考) 令和2年度「三重県高齢者等の移動手段の確保等に向けた地域モデル事業」  
令和2年度当初予算額(補助金) 8,000千円

予算の範囲内で補助対象経費の2分の1以内を補助(1団体上限3,000千円)

4月1日～4月15日 モデル事業の募集

4月17日 選定委員会を経て4事業を選定

# 三重県高齢者等の移動手段の確保等に向けた地域モデル事業

県内4市町の先駆的な取組を令和2年度における地域モデル事業として選定しました！

## 桑名市次世代モビリティ推進事業(桑名市)

### <現状・課題>

大山田地域は、高齢化や今後のバスの運転士不足などの課題を抱え、生活路線の維持が必要である状況。

### <取組内容>

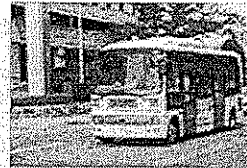
・同地域において、特に維持確保が必要な既存バス路線の一部を自動運転バスの実証実験における走行ルートとし、現在バスを運転している運転手等による実証実験を行うことで、現在のバス運行の将来的な代替手段としての自動運転バスの可能性や導入に当たっての課題について検証。

・実証実験を通して、地域における自動運転バスの受容性やニーズについても把握。

・実証実験時期：令和2年9月(予定)

### <ポイント>

・高齢化等への対応として、自動運転バス導入に向けた実証実験の実施。



## AI配車システムを活用した「かめやまのりあいタクシーのりかめさん」実証運行事業(亀山市)

### <現状・課題>

市内全域において、デマンド型乗合タクシーを運行しており、現在は、事前登録した利用者が、前日までにタクシー事業者で電話で予約している状況。

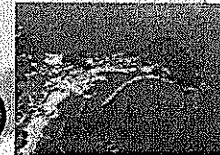
### <取組内容>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車を行うことにより、利用者から根強い要望のある当日の予約に柔軟に対応し、利用者の利便性を大幅に向上させるとともに、効率的なタクシー車両の運行を図る。

・実証実験期間：令和2年9月～10月(予定)

### <ポイント>

・AI配車システムを活用した予約受付及び配車により、当日の予約への柔軟な対応を実現。



## 寝屋子の島 答志島高齢者等移動手段確保事業(鳥羽市)

### <現状・課題>

・答志島では、人口減少や後継者不足により閉店する店が多くなる一方で、高齢化により自家用車を運転できる住民が少なくなり、また公共交通機関もない状況。

・答志地区の民間医療機関が令和2年3月末で閉院となったことにより、移動手段を持たない高齢者が島内唯一の桃取地区の診療所に通院することが必要な状況。

### <取組内容>

・市から運行委託を受けた地元町内会(予定)が市の公用車による移送を行い、島内の移動手段を持たない住民の通院など移動需要に対応。

・実証実験期間：令和2年7月～令和3年2月(予定)

### <ポイント>

・市の健康福祉分野から運行委託を受けた町内会(予定)が市の公用車による移送を行い、高齢者の島内唯一の桃取診療所への通院などの移動需要に対応。

## 紀北町新交通システム実証事業(紀北町)

### <現状・課題>

町内にタクシー事業者がないため、町が運行主体となり、公用車(軽自動車)を使用してドアツードアのデマンド運送(町内全域)を実施している状況。

### <取組内容>

現状に加え、AI配車システムを導入することにより、効率的な運行の実現と将来的な運行数の増加に対応。

・観光客等が利用しやすいようMaas等の導入も視野に入れた実証実験を行う。

・運行管理・安全管理について三重交通(株)に委託し、運転手の一部は町内の介護タクシー事業者から派遣。

・実証実験期間：令和2年6月～令和3年2月(予定)

### <ポイント>

・町内の介護タクシー事業者を活用(運転手を派遣)。

・観光客等が利用しやすいよう、将来的なMaas等の導入も視野に入れた実証実験。





## 4 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の取組について

### 1 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」について【参照：別紙1】

平成20年5月に制定された「三重県地域づくり推進条例」(以下「条例」という。)第4条において、「県は、地域づくりが円滑かつ効果的に行われるよう必要な仕組みを構築し、機能させるものとする。」と県の役割が規定されています。

このため、県では、条例に規定された県の役割を実現するため、平成21年2月に「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(以下「協議会」という。)を市長会、町村会との共管で設立し、協働して地域づくりの基盤の整備に向けた取組を進めています。

### 2 令和元年度の実施状況報告について【参照：別紙2】

協議会の令和元年度における取組概要については、別紙2のとおりです。

なお、9月には、条例第5条の規定に基づき「地域づくり実施状況報告書」として取りまとめて県議会に報告するとともに、県ホームページで公表します。

### 3 令和2年度の取組について

#### (1) 全県会議

全県的な課題をテーマとする検討会議として次の会議を設置し、課題の解決に向けた検討を行います。

##### ①LGBT支援施策の連携検討会議【継続】

LGBT当事者等の支援と啓発の取組について、県および市町間の情報共有と連携を図り、すべての人が住みやすい地域づくりに向け検討を進めます。

##### ②スマート自治体推進検討会議【継続】

最新のICT技術(RPA(ロボットによる業務自動化)やAI(人工知能)等)を活用し、より効率的・生産的な自治体経営をめざすスマート自治体の実現に取り組むため、課題を共有しながら県と市町間で協議・研究を進めます。

##### ③持続可能な地域コミュニティづくり推進検討会議【新規】

住民が主体となった地域コミュニティづくりをより多くの地域で広げるための取組や、若者の力を地域コミュニティの活性化に生かす取組等について、各市町との情報共有や意見交換を通し、検討を進めます。

#### (2) 地域会議

知事と市町長が、市町の具体的な課題について共通認識の醸成と課題の解決に向けてオープンな場で議論する「1対1対談」を、6月から11月頃にかけて開催するほか、複数の市町が関係する地域共通の課題について議論が必要な場合には、知事と関係市町長による「サミット会議」を開催します。

また、個別の地域課題ごとに「検討会議」を設置し、地域課題の解決に向けた具体的な取組について検討します。【参照：別紙3】

# 「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組み

## 全県会議

### 総会

- 全県的な課題について意見交換
  - 連携・協働、役割分担のあり方の対応策の承認
  - 検討会議等での検討指示
- 構成：市町長

市長会会長、町村会会長  
知事、副知事  
危機管理統括監  
各部局長等  
地域防災総合事務所長・  
地域活性化局長

報告

指示

### 調整会議

- 地域づくりに関する各種協議
- 検討会議の設置決定、協議内容に係る意見調整

構成：市町企画担当課長  
県各部局主管課長  
地域防災総合事務所・地域活性化局担当室長

報告

指示

### 検討会議

- 全県的な課題に関する取組
- 構成：市町関係課  
県関係課等

## 地域会議

### 1対1対談

- 市町固有の具体的課題を議論
  - 課題等の共通認識の醸成と解決を導くための協議
- 構成：市町長、知事

### サミット会議

- 地域共通の課題を議論
  - 地域課題の共通認識の醸成と地域における連携・協働に向けた協議
- 構成：関係市町長、知事、地域連携部長、南部地域活性化局長、関係部局長、地域防災総合事務所長・地域活性化局長

### 調整会議

- 地域防災総合事務所・地域活性化局単位等での地域づくりに関する各種協議
- 検討会議の設置決定、協議内容に係る意見調整

構成：市町関係部課長  
地域防災総合事務所長・地域活性化局長  
地域防災総合事務所・地域活性化局担当室長

報告

指示

### 検討会議

- 桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀の6地域防災総合事務所、南勢志摩、紀北、紀南の3地域活性化局における地域課題への取組
- 構成：関係市町関係課、関係地域防災総合事務所・地域活性化局担当室、関係県地域機関等

課題の共有

事務局：県・市長会・町村会

「三重県地域づくり推進条例」第5条の規定に基づく地域づくり実施状況報告  
令和元年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の取組概要

1 開催状況

(1) 全県会議【開催回数 計11回】

全県会議は、全県的な課題を協議・検討するために設置しています。

名称	役割と構成	開催状況等
総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全県的な課題について意見交換</li> <li>◆連携・協働、役割分担のあり方の対応策の承認</li> <li>◆検討会議等での検討指示</li> </ul> 【構成】市町長、市長会会長、町村会会長、知事、副知事、危機管理統括監、各部局長等、地域防災総合事務所長・地域活性化局長	1回 ◆活動報告 ◆県からの報告事項 ◆意見交換 (1) 防災・減災、国土強靱化のさらなる推進について (2) 移住定住の促進について (3) 国の「GIGAスクール構想の実現」に向けた児童生徒1人1台端末の整備事業について
調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域づくりに関する各種協議</li> <li>◆検討会議の設置決定、協議内容に係る意見調整</li> </ul> 【構成】市町企画担当課長、県各部局主管課長、地域防災総合事務所・地域活性化局担当室長	2回 ◆活動報告 ◆全県会議・検討会議の取組について ◆検討会議の設置 ◆県からの報告事項
検討会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全県的な課題に関する取組</li> </ul> 【構成】市町関係課、県関係課等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スマート自治体推進検討会議（3回）</li> <li>◆犯罪被害者等支援施策検討会議（2回）</li> <li>◆LGBT支援施策の連携検討会議（3回）</li> </ul>

(2) 地域会議

地域会議は、地域防災総合事務所・地域活性化局を単位として市町の地域づくりに関する課題等を協議・検討するために設置しています。

名 称	役割と構成
1対1対談 (1対1対談形式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市町固有の具体的課題を議論</li> <li>◆課題等の共通認識の醸成と解決を導くための協議</li> </ul> 【構成】市町長、知事
サミット会議 (地域別集団形式)	(必要な場合に開催) <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域共通の課題を議論</li> <li>◆地域課題の共通認識の醸成と地域における連携・協働に向けた協議</li> </ul> 【構成】関係市町長、知事、地域連携部長、南部地域活性化局長、関係部局長、地域防災総合事務所長・地域活性化局長
調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域防災総合事務所・地域活性化局単位等での地域づくりに関する各種協議</li> <li>◆検討会議の設置決定、協議内容に係る意見調整</li> </ul> 【構成】市町関係部課長、地域防災総合事務所長・地域活性化局長、地域防災総合事務所・地域活性化局担当室長
検討会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀の6地域防災総合事務所、南勢志摩、紀北、紀南の3地域活性化局における地域課題への取組</li> </ul> 【構成】関係市町関係課、関係地域防災総合事務所・地域活性化局担当室、関係県地域機関等

地域会議の開催状況【開催回数 計99回】

地 域 機 関 名	1対1 対 談	サミット 会 議	調整 会 議	検討会議
桑 名	3回	—	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時の広域連携について：2回</li> <li>◆桑員地域の特性に応じた移住・定住施策について：4回</li> </ul>
四日市	4回	—	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆災害時の広域連携について：2回</li> <li>◆広域的な公共交通について：3回</li> </ul>
鈴 鹿	2回	—	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆鈴鹿亀山地域における地域資源や魅力の活用について：2回</li> <li>◆鈴鹿亀山地域の防災・減災対策について：4回</li> </ul>
津	1回	—	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆森林セラピー基地等をいかした地域づくりについて：2回</li> <li>◆津地域の防災・減災対策について：2回</li> </ul>
松 阪	4回	—	4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆松阪地域全体で取り組むべき防災対策とその連携について：4回</li> <li>◆松阪地域定住自立圏共生ビジョンの改定について：3回</li> </ul>

地域 機関名	1対1 対談	サミット 会議	調整 会議	検討会議
伊賀	1回	—	3回	◆適切な災害対応のための市の取組の強化および市と県の連携強化について：2回 ◆地域活性化に向けた県と市の若手職員による共同研究について：3回
南勢 志摩	7回	—	2回	◆職員の広域マネジメント能力強化に資する研究：4回 ◆発災時の物資調達に関するシミュレーション：4回
紀北	2回	—	2回	◆紀北地域の移住促進について：2回 ◆災害時の情報通信に係る連携について：2回
紀南	2回	—	2回	◆避難行動要支援者に関する取組について：2回 ◆若者の定住促進について：6回
開催 回数計	26回	—	20回	53回
計 99 回				

#### <1対1対談>【開催回数 計26回】

対等なパートナーシップの関係にある県と市町が、市町の具体的な課題について、知事と市町長がオープンな場で議論し、共通した認識の醸成と課題の解決に向け1歩でも前に進めることを目的として開催しました。

開催日	市町名	対談項目
6月25日	大台町	①大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークのPRについて ②清流宮川の水量確保について ③「子どもが育つ大台町」を目指して ④県道大台宮川線（新菌井橋 他2橋）の拡幅及び支障木等の伐採について
7月1日	菟野町	①市街化調整区域の地域コミュニティの維持について ②三重とこわか国体の開催について ③防災、特に河床整備について
7月8日	いなべ市	①にぎわいの森を核とした地方創生について ②カートラベルを活用した観光及び防災対策 ③フェアトレードの推進
7月10日	紀宝町	①外国語指導助手（ALT）の配置にかかる財政措置について ②防災対策（河川・海岸対策について） ③防災対策（孤立地区の解消について） ④熊野川の濁水対策について
7月16日	明和町	①上水道の広域化について ②漁業法改正に伴う今後の漁業振興対策について ③玉城ICから斎宮歴史博物館（斎宮跡）への誘導案内板の設置、アクセス道路の整備について ④2021年三重とこわか国体・三重とこわか大会について

開催日	市町名	対談項目
7月16日	伊勢市	①医療体制の充実について ②社会的養護が必要な子どもの自立支援について ③ICT活用推進について
7月20日	松阪市	①「みえ松阪マラソン」への協力について ②成年後見制度の利用拡充にあたっての支援について ③AI、RPA等、新技術の活用による業務改善等について ④特別支援教育支援員の配置に係る補助金の創設について ⑤県立松阪あゆみ特別支援学校との居住地校交流について
7月29日	御浜町	①高速道路の早期完成について ②高速道路の早期完成に向けた御浜町の取り組みについて ③地域振興のための観光について
7月29日	尾鷲市	①林業の活性化について ②中部電力尾鷲三田火力発電所用地活用検討に関する協力について ③土砂条例（仮称）制定に向けた取り組みについて ④三重とこわか国体を契機とした、スポーツ振興による地域活性化について ⑤地域医療の確保について
8月5日	鳥羽市	①「海女文化」を活かした地域活性化に向けて ②世界に誇る水産拠点の構築に向けて ③医師確保について ④離島架橋の早期実現について
8月7日	津市	①国の減額調整措置見直しの趣旨に則した未就学児の医療費の窓口無料化に係る県補助（2分の1補助）対象者の拡充 ②幼児教育・保育の無償化に伴う認可外保育施設における保育の質の確保・向上 ③水道事業の経営に多大な影響を与える県営水道料金単価（基本・従量）の低減 ④防災・安全交付金を活用した事業に対する要望額の満額交付
8月8日	四日市市	①国道1号北勢バイパス（鈴鹿四日市道路）の早期整備について ②北勢地域における小児医療と福祉の充実について ③子ども医療費に対する県補助制度について
9月2日	鈴鹿市	○新たな国土軸の形成を機とした地域活性化について ・人口減少に対する現状認識について ・国土軸の形成に合わせた企業誘致の取組連携について ・規制緩和による地域活性化について
9月17日	度会町	①高齢者の安全運転を支える対策の推進について ②幼少期からの教育の充実について

開催日	市町名	対談項目
10月11日	玉城町	①交流人口および関係人口の創出について ②宮川への新橋の建設について ③健康づくりトップクラスの三重県・玉城町に向けた取組について
10月11日	多気町	①農業次世代人材投資事業への対策について ②獣害に強い農作物の生産振興について ③県道松阪度会線（野中～土羽）バイパス整備について ④県道全般の維持管理について（草刈り、道路区画線及び道路標示） ⑤「アクアイグニス多気」開業に向けての支援について
10月17日	南伊勢町	①当町における英語教育への支援について ②柑橘生産団地の整備と協業化について ③空飛ぶクルマについて ④地籍調査事業の推進について ⑤国道260号の整備について
10月21日	桑名市	①行政のデジタル化の推進について ②県と市の広域行政一体戦略について～公共施設マネジメントの視点から～ ③IRの調査・研究について
10月21日	朝日町	①防犯対策の強化について（交番・駐在所の設置要望） ②教育関係行政経費への特別支援について ③自主防災隊の組織強化並びに町職員に対する教育支援について
10月30日	木曾岬町	①防災対策について ②農業用排水機の県営移管等の検討について ③特定自動車部品のヤード内保管に対する対策（県条例化）の検討について
11月19日	亀山市	①厚生労働省による再編・統合議論の対象病院の公表について ②廃棄物処理政策について ③鈴鹿川等源流域の自然環境等の保全及び活用について ④リニア中央新幹線における三重県駅について
11月20日	川越町	①子どもの発達専門医療機関「児童精神科」の受け入れ状況の改善について ②高齢者の交通安全対策の推進について
11月30日	名張市	○伊勢湾台風から60年 これからの防災・危機管理について
12月13日	大紀町	①農林水産業の振興について ②防災・減災対策の推進について ③少子高齢化対策について
12月13日	紀北町	①排水機場整備事業に対する支援について ②銚子川周辺の安全確保と環境保全の取り組みへの協力について ③公共交通の確保への協力について



開催日	市町名	対談項目
12月19日	志摩市	①健康づくりの取組について ②災害時の取組について、 ③一般国道167号磯部バイパスの整備について

### <サミット会議>

地域共通の課題について、知事と関係市町長とが共通した認識の醸成と地域における連携・協働に向けた協議を行い、住民サービスの向上や市町との連携の強化を図ることを目的として議論が必要な場合に開催していますが、令和元年度の開催実績はありませんでした。

### <調整会議>【開催回数 計20回】

各地域防災総合事務所・地域活性化局において、検討会議の設置等について協議・調整を行うとともに、県・市町間で地域づくりに関する地域課題等についての情報共有を行いました。

## 2 検討会議の主な取組成果

全県会議および地域会議の各検討会議の主な取組成果は、以下のとおりです。

### (1) 全県会議【3テーマ 計8回開催】

検討会議テーマ	主な取組成果
スマート自治体推進検討会議 (事務局：地域連携部 市町行財政課、情報システム課、地域支援課)  (3回開催)	RPA等について、先進的に導入している自治体等の担当者からお話を伺う機会を設けることで、RPAやAIの知識を高めることができました。 県と市町双方の取組内容や成果を共有することで、三重県全体でスマート自治体に係る気運を醸成することができました。
犯罪被害者等支援施策検討会議 (事務局：環境生活部 くらし・交通安全課)  (2回開催)	犯罪被害者等が、県内のどこに住んでいても適切な支援を受けられるようにするため、犯罪被害者等の置かれている状況やさまざまな課題について、県とすべての市町の認識の共有を図りながら、「三重県犯罪被害者等支援推進計画」を策定することができました。 有識者等による、犯罪被害者等に対する支援に際しての留意事項等に係る研修等を通じて、市町の担当者のスキルアップを図るとともに、県と市町の連携強化を図りました。

検討会議テーマ	主な取組成果
LGBT支援施策の連携検討会議 (事務局：伊賀市人権政策課)  (3回開催)	<p>検討会議を設置することにより、県と市町の人権政策に携わる担当者が集まる場を設けることができ、その中でLGBT等への支援施策に関する意見交換等を行うとともに、県および市町の取組状況や先進事例等の情報共有を行うことができました。</p> <p>また、当事者のお話をうかがう機会を設け、当事者視点での現在の生きづらい社会のあり方や行政に望むことについて理解を深めることができました。</p>

(2) 地域会議【18テーマ 合計53回開催】

地域機関	検討会議テーマ	主な取組成果
桑名	災害時の広域連携について (2回開催)	<p>伊勢湾台風60年防災訓練における広域避難実施の際に、行政で対応が可能な範囲を想定して取り組んだことにより、現実的な訓練内容とすることができ、より具体的な行動項目の検討ができました。</p> <p>平成30(2018)年度までに整理し抽出した防災行動を基に、より詳細な行動を追加して、それを広域避難実施の際のステージごと取るべき行動として列記した、広域避難タイムライン(仮称)の草案を作成しました。</p>
	桑員地域の特性に応じた移住・定住施策について (4回開催)	<p>移住・定住等の促進のため、各市町の様々な分野の施策等を情報共有し、その強みや課題を整理することができました。</p> <p>移住・定住等の促進のため、各市町の強みである施策等をどのようにシティプロモーションやインナープロモーションとして展開していくかの方向をまとめることができました。</p>
四日市	災害時の広域連携について (2回開催)	<p>令和元(2019)年12月27日に「災害時における相互応援等に関する協定」の実施要領を策定することができました。</p> <p>防災ワークショップ実施を通じ、スーパー台風最接近2日前の避難者支援等の事前対策として、「災害対策本部運営体制」、「避難行動要支援者避難行動支援」、「災害時における相互応援等に関する協定の実施要領」をふまえた行動の検証を行い、課題を把握することができました。</p>
	広域的な公共交通について (3回開催)	<p>各市町における取組や今後の課題を共有し、意見交換することにより、四日市福玉山線や菰野町コミュニティバスについて、地域全体での利用増に向けて協働していくという方向性を共有することができました。</p> <p>各市町での試行取組や県外事例調査の結果を共有することにより、デマンド交通やタクシーの効果的な活用について、各市町の今後の事業展開に生かすことができました。</p>

地域機関	検討会議テーマ	主な取組成果
鈴 鹿	鈴鹿亀山地域における地域資源や魅力の活用について (2回開催)	鈴鹿パーキングエリアほか、中央自動車道・東名高速道路など、NEXCO 名古屋支社管内の高速道路各サービスエリア内に設置されているマルチインフォメーションボードを活用し、鈴鹿市（スズカ バルーン フェスティバル 2020）および亀山市（亀山探訪：東海道関宿）にかかるPR広告を掲載することで、両市の魅力について広く情報発信することができました。
	鈴鹿亀山地域の防災・減災対策について (4回開催)	令和元（2019）年11月12日に実施した災害医療情報伝達訓練では、伝達経路の確認や、各市の防災担当課と災害医療担当課、警察署、消防本部の連携促進、県、市防災行政無線、防災情報プラットフォームを活用した機器操作の再確認などを実施し、大規模災害発生時の関係機関の連携強化につなげることができました。
津	森林セラピー基地等をいかした地域づくりについて (2回開催)	<p>関西に本社を置く大手旅行業者と連携し、集客交流セミナー「森林セラピー講座」を4回開催し、森林セラピーの枠を超えた美杉地域の魅力を幅広く伝えた結果、講座参加者のうち2名について、津市森林セラピー基地10周年記念イベントへの参加につなげることができました。</p> <p>講座が好評であったことから、連携した旅行事業者から講座の継続実施や他講座とのコラボレーション、同社内の潜在観光客向け展示スペース活用などの提案を得られ、情報発信チャンネルを広げることができました。</p>
	津地域の防災・減災対策について (2回開催)	<p>災害時における県・市それぞれの人員体制上の課題等について情報共有するなどにより、連携にあたっての課題等を把握することができました。こうした検討結果を、津市総合防災訓練における、県・市の明確な役割分担による取組や、津市地方部・津市連携総合図上訓練における、計画段階からの意思統一、緊密な情報共有による円滑かつ計画的な訓練実施など、災害対応力の向上につなげることができました。</p> <p>また、津市香良洲総合支所が計画していた防災訓練で、防災対策部の防災技術指導員をつないだことにより、参加者を増やすための新たな取組を実施することができたなど、地域機関の課題解決に向けた取組を進めることができました。</p>
松 阪	松阪地域全体で取り組むべき防災対策とその連携について (4回開催)	<p>災害医療部門においては、関係機関の合同による情報伝達訓練を実施し、入力操作の習熟度向上を図るとともに、研修等を通して地域の医療関係機関との連携強化の重要性に関して理解を深めることができました。</p> <p>救援物資・被災者支援部門では、災害用備蓄品の整理および情報共有を図るとともに、災害派遣・救助活動に関する研修や電気自動車の利活用の実演研修を開催し、災害発生時に各職員に必要とされる防災知識・スキルの向上を図ることができました。</p>

地域機関	検討会議テーマ	主な取組成果
松 阪	<p>松阪地域定住自立圏 共生ビジョンの改定 について (3回開催)</p>	<p>共生ビジョン(第二次)の策定スケジュール、松阪地域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催結果等について、調整、情報共有を行いました。</p> <p>共生ビジョンの連携項目の見直しおよび松阪地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書の内容等について、協議、調整を行いました。</p>
伊 賀	<p>適切な災害対応のための市の取組の強化 および市と県の連携 強化について (2回開催)</p>	<p>伊賀地方部版タイムラインの情報共有、地方部版タイムラインと市への派遣基準の整合性を図りました。</p> <p>また、出水期後、令和元(2019)年度の台風対応についての意見交換を行い、各市の災害対策本部の活動状況の迅速な把握や、派遣者の役割の再確認、派遣者の業務範囲について意見交換を行いました。</p>
	<p>地域活性化に向けた 県と市の若手職員による 共同研究について (3回開催)</p>	<p>人材育成に関して情報交換を行い、それぞれの状況・課題等を共有することができました。また、県と市、市同士が連携し、より良い行政運営を行うために、継続的な若手職員の交流が重要であることの認識を共有できました。</p> <p>令和2(2020)年度の共同研究実施に向けて、体制の構築および実施要領の策定など、準備を整えることができました。</p>
南 勢 志 摩	<p>職員の広域マネジメント 能力強化に資する 研究 (4回開催)</p>	<p>市町の政策担当職員が広域連携の視点を持ち、必要な知識を得るための研修を実施しました。講師によるセミナーと管内市町による先進取組事例の紹介を組み合わせることで、参加者間で活発な意見交換が行われた結果、一部の市町で、雇用創出に関する国機関との連携協定締結等の成果が生まれました。</p> <p>また、南勢志摩地域でのワーケーションの可能性を検討するため白浜町への視察を行い、一部の市町でワーケーションの取組の検討が進む等の成果が生まれました。</p>
	<p>発災時の物資調達に 関するシミュレーション (4回開催)</p>	<p>緊急物資の調達に関する業務について、県と市町が各自の課題を洗い出して共有し、「広域物資輸送拠点活動マニュアル」を策定するとともに、マニュアルを活用した合同訓練を初めて実施しました。</p> <p>また、県内の被害が甚大で広域物資拠点のみでは業務遂行に支障が生じる場合等は県営サンアリーナを活用することとする連携協定を県営サンアリーナの指定管理者と締結することができました。</p>

地域機関	検討会議テーマ	主な取組成果
紀 北	紀北地域の移住促進について (2回開催)	各市町が取り組む移住・定住関係施策について、情報共有が進みました。また、関係機関を交えながら先進地域の事例を検討した結果、移住先における働き方について提案していくことが重要であるとの共通認識が得られたことから、各市町の実状に合致した、移住検討者への働き方提案のための情報を掘り起こす取組の進め方を決定し、着手段階に移すことができました。
	災害時の情報通信に係る連携について (2回開催)	災害時の連絡手段として使用する通信機器の操作方法と通信状況を確認することを目的に、情報通信機器操作訓練を実施し、各機関相互の連携強化や通信機器操作の習熟につながりました。また、各機関の課題や問題点も浮き彫りになり、今後解決に向けて検討していくべき事項が明確になりました。
紀 南	避難行動要支援者に関する取組について (2回開催)	各市町の取組や先進事例を情報共有し意見交換することで、新たな課題を認識し今後の取組の参考として生かすことができました。 また、難病患者の情報についても保健所と確認を行い、情報共有を進める方向で調整を行っています。
	若者の定住促進について (6回開催)	高校生の地元への就職意欲を高め、紀南地域における若者の定住促進を図るため、紀南地域事業所見学会を開催し、紀南高校の生徒9名が参加して、管内3市町に所在する4つの事業所を見学しました。 参加した高校生に行ったアンケートでは、「地元にもいいところがたくさんあることに気が付ける体験だった。」「地元でも働きたいと思った。」といった意見があり、地元企業の魅力発見と進路選択の幅が広がるなど、一定の成果が出ていると考えられます。

## 令和2年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」

## 地域会議 検討会議テーマ一覧

令和2年5月末現在

地域機関	テーマ
桑名	① 災害時の広域連携について【継続】 ② 外国人との共生社会実現について【新規】
四日市	① 災害時の広域連携について【継続】 ② 広域的な公共交通について【継続】
鈴鹿	① 鈴鹿亀山地域における移住・定住促進について【新規】 ② 鈴鹿亀山地域の防災・減災対策について【継続】
津	① 森林セラピー基地等をいかした地域づくりについて【継続】 ② シティプロモーション事業における市と県の連携促進について【新規】
松阪	① 松阪地域全体で取り組むべき防災対策とその連携について【継続】 ② 次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について【新規】
伊賀	① 適切な災害対応のための市の取組の強化および市と県の連携強化について【継続】 ② 地域活性化に向けた県と市の若手職員による共同研究について【継続】
南勢志摩	① 発災時の物資調達に関するシミュレーション【継続】 ② 南勢志摩地域におけるテレワークの推進【新規】
紀北	① 紀北地域の移住促進について【継続】 ② 災害時の情報通信に係る連携について【継続】
紀南	① 避難所の運営について【新規】 ② 若者の定住促進について【継続】
計 18テーマ	



## 5 三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備状況について

三重とこわか国体・三重とこわか大会（以下、「両大会」という。）の開催まであと1年3か月となり、より一層本格的な準備に取り組む必要があります。両大会の成功に向け、県民の皆さんとともに“オール三重”で、準備を進めていきます。

### 1 新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況について

#### (1) 競技別リハーサル大会

競技別リハーサル大会は、競技会の運営能力の習熟を目的とし、令和2年度から令和3年度にかけて各会場地市町で開催されることから、県では、令和2年4月に「競技別リハーサル大会運営費補助金」を創設し、市町の支援を行っているところです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年6月8日現在、当初開催予定の42大会のうち、23大会が中止、1大会が開催見合わせとなっています。中止となった会場地市町や競技団体からは、習熟の機会が失われたことにより、大会運営に向けた不安の声とともに、改めて別大会をリハーサル大会として開催したいという声をいただいています。

今後、市町が希望する大会を改めてリハーサル大会として位置づけ、補助金の交付対象とするほか、引き続き市町から聴き取りを続け、対応が求められる課題については、ともに解決に向けた取組を進めていきます。

#### (2) 広報・とこわか運動（県民運動）

500日前イベントや企業・他部局等と連携したPR活動の中止、とこわかダンスを指導するダンスキャラバンの今年度の開始の遅れなど、当初予定していた広報活動が実施できていないことに加え、12月のスポーツイベントと連携して企画していた300日前イベントなども実施が見通せない状況にあります。

緊急事態宣言発令中においても、ホームページやTwitterで在宅でできる、とこわかダンスやとこまる作りの取組を紹介するなどの広報を行ってきました。

引き続き、TwitterやYouTubeなどのSNSを活用した広報やとこわか運動への参加の働きかけを行うとともに、制限がある中でも創意工夫を凝らしたイベントの実施、通勤・通学をはじめ生活する中で目に触れる機会が多い交通広告の活用など、両大会の観戦やボランティアへの応募に向けた県民の皆さんの参加意識の醸成につながる取組を展開してまいります。



### (3) ボランティアの養成

両大会で活躍いただく、運営ボランティア、情報支援ボランティア、移動支援ボランティアについては、現在、募集人数の確保に向け、ホームページやPR活動における情報発信のほか、三重県社会福祉協議会等に協力の働きかけを行っています。

手話や要約筆記の専門性を必要とする情報支援ボランティアは、5月から養成講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から延期し、8月の開催に向けて、カリキュラムを見直し準備を進めています。

また、運営ボランティアと移動支援ボランティアについても、感染対策を見据えて秋頃からの研修実施に向け準備を進めています。

### (4) 募金・企業協賛

今後、新型コロナウイルス感染症の状況や県内外の経済状況をふまえたうえで、すでに両大会へのご協力を検討いただいている企業・団体に対しては、改めて訪問しご支援をお願いするとともに、その他の企業等に対しては、訪問の時期を見極めたうえで、総合案内所での来場者対応など、幅広いご支援をお願いしてまいります。

(企業等からの寄附・協賛額 令和2年5月末時点：272,550千円 ※申込ベース)

## 2 会場地市町運営交付金(仮称)について

先催県では、市町による国体競技会などの運営経費に対する交付金制度を設けています。

本県においても、先催県の制度内容等をふまえ、本県の交付要領案を、6月8日に会場地市町にお示しさせていただいたところです。

今後、本大会にかかる競技会運営経費の調査結果やヒアリングを通じた市町のご意見もふまえ、令和3年度の制度施行に向けて、準備を進めています。

## 3 鹿児島国体・大会について

### (1) 鹿児島国体・大会の開催可否検討状況

今秋の鹿児島国体・大会について、その開催可否の検討が日本スポーツ協会、スポーツ庁、日本障がい者スポーツ協会、鹿児島県の4者で行われており、6月中に結論を出すとされています。

### (2) 緊急要望について

国体・大会の開催にあたっては、他の開催地都道府県と同様に、市町、競技団体、企業、ボランティアなど多くの関係者のご負担やご協力をいただいで準備を進めています。とりわけ、多くの選手は自らの競技人生を懸けて、国体での天皇杯・皇后杯獲得に向け、2021年の地元開催に照準を絞り、強化に取り組んでいます。

一方、この度の鹿児島国体・大会の1年延期の報道を受けて、一部市町や競技団体から、延期にかかる問い合わせや不安の声が県に寄せられており、こうした不安に応えていく必要があります。

このようなことから、6月11日、三重県と2022年の開催が正式決定している栃木県、開催が内定している佐賀県、滋賀県の4県が、文部科学省、スポーツ庁、日本スポーツ協会及び日本障がい者スポーツ協会に対して、鹿児島国体・大会の開催可否にかかる検討にあたっては、後催県の意見も聴取し、多様な選択肢を提案したうえで、日本全体で見ると影響が少なくなるよう、必要かつ十分な検討がなされるべきであることを要望しました。

### (3) 今後の方針

日本スポーツ協会やスポーツ庁等における検討状況を注視するとともに、栃木県など後催県と十分連携を図りながら、予定どおりの会期での開催に向け、準備を進めていきます。



三重とこわか国体競技別リハーサル大会【開催日順】

資料1

(令和2年6月8日現在)

No	競技名	市町名	大会名	競技会場	大会日程 (※年記載なしは 令和2年度開催)	中止等の状況 (市町発表日)	
1	ラグビー フットボール	7人制 熊野市	2020関西セブンズフェスティバル	山崎運動公園 多目的グラウンド	4月12日(日)	中止 (R2.3.19)	
2	なぎなた	津市	第61回都道府県対抗なぎなた大会	津市久居体育館	5月23日(土)～24日(日)	中止 (R2.3.25)	
3	軟式野球	四日市市	第42回東日本軟式野球大会(1部)	四日市市霞ヶ浦第1野球場 四日市市霞ヶ浦第3野球場	5月29日(金)～6月1日(月)	中止 (R2.4.3)	
		亀山市		西野公園野球場			
		伊賀市		上野運動公園野球場			
4	弓道	名張市	第67回全日本勤労者弓道選手権大会	HOS名張アリーナ(名張市総合体育館)特設近的弓道場	6月12日(金)～14日(日)	中止 (R2.4.30)	
5	カヌー スプリント	四日市市	第67回東海高等学校総合体育大会	伊坂ダム特設カヌー競技場	6月13日(土)～14日(日)	中止 (R2.4.13)	
6	クレール 射撃	伊賀市	第3次三重公式大会	三重県上野射撃場	6月27日(土)～28日(日)	中止 (R2.4.17)	
7	水泳 競泳	鈴鹿市	三重県選手権水泳競技大会	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿水泳場	7月4日(土)～5日(日)	中止 (R2.5.12)	
8	水泳 飛込	鈴鹿市	三重県選手権水泳競技大会	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿水泳場	7月4日(土)～5日(日)	中止 (R2.5.12)	
9	トリアス ロン	志摩市	伊勢志摩・里海トリアスロン大会2020	志摩市浜島海浜公園特設会場	7月5日(日)	中止 (R2.4.27)	
10	ボート	大台町	第40回全日本中学生選手権競漕大会	奥伊勢湖漕艇場	7月10日(金)～12日(日)	中止 (R2.5.11)	
11	ハンド ボール	鈴鹿市	第25回ジャパンオープンハンドボールトーナメント	AGF鈴鹿体育館、三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿体育館	7月11日(土)～14日(火)	中止 (R2.5.1)	
		いなべ市		員弁運動公園体育館			
		伊賀市		三重県立ゆめドームうえの			
12	テニス	四日市市	第44回全日本都市対抗テニス大会	四日市テニスセンター	7月17日(金)～19日(日)	開催見合わせ (R2.4.15)	
13	アーチェリー	松阪市	第68回全日本実業団アーチェリー大会	松阪市総合運動公園芝生広場	7月18日(土)～19日(日)	中止 (R2.4.28)	
14	水泳 オープン ウォータースイ ミング	尾鷲市	オープンウォータースイミング三重オープン2020尾鷲	尾鷲市三木里海水浴場	7月26日(日)	中止 (R2.4.20)	
15	ソフト ボール	紀北町	第64回中日本総合女子ソフトボール選手権大会	赤羽公園野球場、赤羽公園多目的グラウンド	8月7日(金)～9日(日)	中止 (R2.4.16)	
16	ソフト テニス	鈴鹿市	第65回男子・第64回女子全日本実業団ソフトテニス選手権大会	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿庭球場	8月8日(土)～10日(月)	中止 (R2.5.20)	
17	陸上 競技	伊勢市	令和2年度全国中学校体育大会 第47回全日本中学校陸上競技選手権大会	三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場	8月17日(月)～20日(木)	中止 (R2.4.28)	
18	相撲	伊勢市	第59回全国教職員相撲選手権大会	三重交通Gスポーツの杜 伊勢体育館	8月23日(日)	中止 (R2.5.27)	
19	セー リング	津市	高松宮妃記念杯第66回全日本実業団ヨット選手権大会 第22回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 2020年全日本セーリング選手権大会	津ヨットハーバー	9月11日(金)～13日(日)	中止 (R2.6.2)	
20	自転車	トラック・レース	第55回全国都道府県対抗自転車競技大会	四日市競輪場	9月11日(金)～12日(土)	中止 (R2.6.8)	
		ロード・レース		いなべ市特設ロード・レースコース	9月13日(日)		
21	ホッケー	名張市	2020年度全日本社会人ホッケー選手権大会	名張市民ホッケー場、メイハンフィールド(名張市民陸上競技場)	9月18日(金)～23日(水)		
22	ソフト ボール	志摩市	第72回全日本総合女子ソフトボール選手権大会	長沢野球場、長沢多目的広場	9月19日(土)～21日(月)	中止 (R2.4.27)	
23	ライフル 射撃	C P 以外 C P	津市	令和2年度全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会	三重県営ライフル射撃場 津市一志体育館	9月19日(土)～21日(月)	中止 (R2.6.2)
24				令和2年度全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会	三重県警察学校射撃場	9月19日(土)～20日(日)	中止 (R2.6.2)
25	ソフト ボール	明和町	2020年度日本女子ソフトボールリーグ(第4節)	明和町総合グラウンド 明和中学校第2グラウンド	9月25日(金)～27日(日)		
26	バレー ボール	ビチャレー ボール	津市	第5回東海ビーチャレーボール選手権大会	津市御殿場海岸特設会場	10月3日(土)～4日(日)	中止 (R2.6.2)
27	卓球	伊勢市	2020年全日本卓球選手権大会(団体の部)	三重県営サンアリーナ	10月16日(金)～18日(日)		
28	サッカ ー	鈴鹿市	第56回全国社会人サッカー選手権大会	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿サッカー・ラグビー場	10月16日(金)～21日(水)		
		四日市市		四日市市中央陸上競技場 四日市市中央フットボール場 四日市市第1グラウンド			
		伊勢市		伊勢フットボールヴィレッジ			
		伊賀市		上野運動公園競技場			

No	競技名	市町名	大会名	競技会場	大会日程 (※年記載なしは 令和2年度開催)	中止等の状況 (市町発表日)
29	体操 トランポリン	四日市市	第57回全日本トランポリン競技選手権大会	四日市市総合体育館	10月31日(土)～11月1日(日)	
30	ボウリング	津市	内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯第49回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会	津グランドボウル	10月31日(土)～11月2日(月)	
31	高等学校野球 硬式	伊勢市	第73回秋季東海地区高等学校野球大会(準決勝・決勝)	ダイムスタジアム伊勢	10月31日(土)～11月1日(日)	
32	軟式	松阪市	第35回秋季東海高等学校軟式野球大会	三重県営松阪野球場	10月31日(土)～11月3日(火)	
33	バドミントン	伊勢市	バドミントンS/JリーグII 2020	三重県営サンアリーナ	11月13日(金)～15日(日)	
34	ウェイトリフティング	亀山市	内閣総理大臣杯第57回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 レディースカップ第12回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会	西野公園体育館	11月21日(土)～26日(木)	
35	ボクシング	志摩市	第72回全日本社会人ボクシング選手権大会 第19回全日本女子ボクシング選手権大会(ジュニア)	阿児アリーナ	12月9日(水)～13日(日)	
36	フェンシング	鳥羽市	第73回全日本フェンシング選手権大会(団体戦)	鳥羽市民体育館	12月18日(金)～20日(日)	
37	水泳 水球	鈴鹿市	第7回(2020年度)全日本ジュニア(U-17)水球競技選手権大会 東海ブロック予選会	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿水泳場	1月30日(土)～31日(日)	
38	ラグビー ラグビーフットボール	15人制 鈴鹿市	第25回東海高等学校選抜ラグビーフットボール大会	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿サッカー・ラグビー場	2月20日(土)～21日(日)	
39	剣道	伊賀市	第66回東海四県対抗剣道大会 第26回東海四県対抗女子剣道大会	三重県立ゆめドームうえの	3月21日(日)	
40	カヌー スラローム・ワイルドウォータ	多気町・松阪市	国民体育大会第42回東海ブロック大会兼御田川カップ	御田川特設カヌー競技場	令和3年 4月24日(土)～25日(日)	
41	スポーツクライミング	菟野町	第8回日本学生スポーツクライミング対校選手権大会	菟野町体育センター南側グラウンド 菟野町体育センター	令和3年 6月4日(金)～6日(日)	
42	馬術	鈴鹿市	三重とこわか国体馬術競技リハーサル大会	三重県馬術競技場	令和3年 6月12日(土)～13日(日)	

※大会日程に公式練習日は含んでいません。

○リハーサル大会を実施しない競技・種目

津市: バレーボール(6人制)、バスケットボール、レスリング、柔道、高等学校野球(硬式)  
 四日市市: 体操(競技、新体操)、空手道、ゴルフ  
 桑名市: ゴルフ  
 鈴鹿市: 水泳(アーティスティックスイミング)、軟式野球、ゴルフ  
 名張市: 軟式野球  
 熊野市: ソフトボール

## 6 南部地域活性化に向けた取組について

### 1 新型コロナウイルスの影響について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国外からの観光客は当面の間期待することが難しく、また国内客についても感染への懸念から遠方への旅行を控えることが予想されています。

こうしたことから、今年度は、感染症収束後に旅行者を円滑に受け入れていくための環境整備や、若い世代を対象にした「ひと」づくり、国内の近隣地域からの誘客促進などを中心に取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルスの影響により実施が困難な事業については、感染症影響下でも実施可能で、感染症収束後の誘客につながっていくような事業内容に随時変更していくなど、先を見据えた取組を行っていきます。

### 2 今後の取組について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して見直しを行い、以下のとおり取り組んでいきます。

#### (1) 旅行ルート作成システムの導入

行きたい観光地等を選ぶと、交通手段や所要時間も含めて、最も効率的な旅行ルートを作成する多言語版「旅行ルート作成システム」を導入し、土地勘のない旅行者や外国人旅行者にもストレスフリーに東紀州地域を中心とした周辺エリアを周遊してもらえよう、受入環境整備に取り組めます。

○ 対応言語：日本語、英語、中文簡体、中文繁体

○ サービス機能：

・モデルコースの紹介 10本以上

・観光施設、宿泊施設、飲食店、観光案内施設、体験施設等のスポットの紹介 500箇所以上

※ 対象は、東紀州地域5市町、伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市、多気町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町をはじめ、三重県全域と和歌山県高野町、田辺市、那智勝浦町、新宮市も含める。

・複数のスポットを選択すると、鉄道やバス、レンタサイクル、自動車等の交通手段や所要時間も含めて、最も効率的に周遊できるルートを提案する旅行ルート作成機能

## (2) 地域の誇り次世代継承プロジェクト事業

次世代を担う子どもや若者を対象に、「三つの『密』」を回避するなど新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、熊野古道の価値や地域の歴史、文化を理解する取組を実施することにより、自らが住む地域と世界遺産熊野古道に愛着と誇りを持ち、地域の担い手となる「ひと」づくりを行うことで、若者の定着につなげていきます。

### ① ばりすごいで！世界遺産塾

- 対象：東紀州地域の小・中学生（1回あたり約20人、3回程度）
- 概要：地域のさまざまな達人を塾の講師やコーディネーターに迎え、熊野古道やその周辺の自然・歴史・文化等を体験し、地域の「本物」に触れる講座を開催します。
- 時期：8月以降で順次実施

### ② 「高校生」×「熊野古道」×「SDGs」＝「いざ！東紀州へ」

- 対象：東紀州地域の高校生
- 概要：高校生が、語り部とともに熊野古道を歩くなどフィールドワークを事前に行って、地域の魅力的な資源を掘り起こし、その魅力を案内するための企画等を行います。
- 時期：秋以降（地元高校と調整中）

## (3) 関係人口「度会県」の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、人と人との直接的なつながりの場が減り、「精神的な豊かさ」を感じる機会が減少しています。

関係人口「度会県」の取組について、当初予定していました都市部（東京・大阪）において「度会県民」が交流する「度会県民の集い」を見直し、感染症発生後の「新しい生活様式」をふまえ、オンライン上で交流する場を創出し「精神的な豊かさ」を感じていただく機会を提供します。

### ○ 「度会県民」が集まるオンラインサロンの開催

- ・ 目的：オンラインを活用し、「度会県民」と地域住民のつながりの場づくりを、関係人口から活動人口へと発展させていくきっかけとする
- ・ 対象：地域に出向くことができない「度会県民」や地域住民
- ・ 規模：年度内に複数回開催し、各回テーマを設定（20名程度/回）

#### (4) (一社) 東紀州地域振興公社の取組

東紀州産業活性化事業推進協議会の会員事業者が、大都市圏などのニーズを踏まえた付加価値の高い商品づくりを行うため、ブランドプロデュースや販路開拓の支援を行うこととしており、新型コロナウイルス感染症により減少した観光客の回復を図るため、世界遺産熊野古道など東紀州地域の観光情報・グルメ情報などをPRする「東紀州地域へ GO TO キャンペーン」を実施しています。

第1回 6月6日(土)・7日(日) イオン津店

第2回 6月13日(土) マルヤスメルヴィフードホール亀山店

6月13日(土)・14日(日) 松阪ショッピングセンターマーム  
(イオン松阪店)

第3回 6月20日(土) 名阪関ドライブイン

6月20日(土)・21日(日) 道の駅 津かわげ

#### (5) 県立熊野古道センターの取組

熊野古道センターは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月11日から休館していましたが、緊急事態宣言の解除を受け、感染拡大防止のガイドラインを定め、地域の施設とも歩調を合わせて5月19日から開館しています。この間予定していた企画展、特別企画展は、多くの来訪者にご覧いただけるよう開催期間を延長して開催しています。

また、3月1日から4月5日まで開催を予定していた「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路・バスクの道」写真展については、再度の開催に向けて調整してまいります。

#### ○熊野古道センター来場者数

(単位：人)

	4月	5月	年間合計
令和2年度	1,614	2,448	4,062
令和元年度	9,703	17,294	128,628
平成30年度	11,283	17,473	113,961

※令和2年度は、4/11～4/30、5/1～5/18 休館。

また、開館後も「三密」となるような会議、イベント等の貸館には、利用制限をしています。





7 審議会等の審議状況について（報告）  
 （令和2年2月17日～令和2年6月2日）

1 審議会等の名称	三重県スポーツ推進審議会
2 開催年月日	令和2年2月26日
3 委員	会長 鶴原 清志 副会長 馬瀬 隆彦 委員 尾上 壽一 他9名
4 諮問事項	「第2次三重県スポーツ推進計画」の進捗状況について
5 調査審議結果	下記事項について審議が行われ、意見を得た。 ・「第2次三重県スポーツ推進計画」の進捗状況について
6 備考	